

# 長野便教会 会報

ひとつ拾えれば ひとつだけきれいになる

令和3年5月5日 (水) 第100号



## 1 清掃サミット、初のオンライン開催！

2月20日（土）、長野便教会は新たな一歩を踏み出しました。それは「清掃サミットのオンライン開催」です。昨年の夏、やむなく「清掃サミットの中止」をご案内したところ、「今年も参加しようと思っていたのに残念だ」「午後の意見交換だけでも、オンラインで開催できないか」という声をあちこちからいただきました。そうした声に背中を押され、メンバーで検討した結果、「4校くらいでもいいから、まずはやってみよう！」ということになりました。

参加校を募集したところ、何と県内から11校(佐久穂町立佐久穂中、安曇野市立三郷中、須坂市立常盤中、須坂市立墨坂中、中野市立南宮中、飯山市立城南中、長野市立篠ノ井東中、長野市立篠ノ井西中、長野市立更北中、松本市立清水中、松本市立信明中)に加えて、福岡県福岡市の和白丘中学校からも参加希望があり、これは逆に「オンラインだからこそできること」だと思いました。今回はその和白丘中の中尾康二先生に、「清掃サミットの魅力」を語っていただきました。

## 実践を語り合える場所「清掃サミット」 福岡市立和白丘中学校 教諭・中尾 康二

私が初めて「長野県中学生清掃サミット」に参加させていただいたのは、第5回・上田市立丸子北中学校での開催の時でした。鍵山秀三郎相談役がおっしゃっていた「感動の心を練るには、自分の体と時間とお金を使って行動することです。」を胸に福岡を出発しました。途中、名古屋に寄り、変わりゆく景色と人間模様を感じながら長野へ車を走らせました。

丸子北中学校に到着して気づいたことが、「際立っている」を強く感じました。普段の清掃が徹底されていることを実感しました。靴箱の靴のかかとがそろっている。生徒の笑顔でのあります。トイレ掃除に取り組む生徒の姿勢。どれもが、爽快感を受けるものばかりでした。目指す校風づくりが長野にあると確信し、「毎年行って学ぶぞ」と決意し、「福岡での清掃サミット」開催に向けて一步を踏み出しました。

掃除サミットに参加していると、参加している生徒さんが、「この会は、『掃除を学ぶ』ではなく、『掃除に学ぶ』ですよね。」と明るく言うのです。皆さんは体現できていますか？私は、まだまだ体現できていません。「掃除に学ぶ」を体現できこそ、眞の教師、眞の指導者と言えるのではないかと考え、毎日のお掃除に生徒と共に取り組んでおります。今回の「オンライン清掃サミット」では、視覚と聴覚を使っての会議ですが、佐久穂中学校と篠ノ井東中学校のプレゼンを行う生徒の様子を拝見しながら、プレゼン能力の高さはもとより、「毎日、五感を使ってお掃除に学ぶ実践をしている仲間がここにもいるなあ」と、とても感動しました。

また、実践発表後の意見交換やブレイクアウトルームでの意見交換でも、例年よりも活発な意見が出されました。日々、五感を使ってお掃除に取り組んでいることが、ベースにあるからこそ発言できるのですが、オンライン会議では、発表者が雑音なく発言できることや、聞き手が考察したり検討したりする時間が確保されるため、内容を理解しやすいという利点が功を奏して、素晴らしいサミットとなりました。

もうひとつ気付いたことがあります、それは和白丘中はDVDで参加をさせていただいたので、その動画を編集しているときに、普段のお掃除をしていて、集中して取り組むほど「周囲が見えなくなるよなあ」「自分自身の姿を見てみたいだうなあ」と思いました。定期的にお掃除の様子を撮って、自分自身の姿を確認すると、素晴らしい宝を発見できることがわかりました。これも、今回サミットに参加させていただいたおかげです。

私が14年間、毎日お掃除に学び続けることができたのは、こうしてお互いに実践を語り合える場所があるからなのです。「清掃サミット」って素晴らしいですよね。

当方は、委員会を引き継いだばかりのフレッシュな2年生を中心だったこともあってか、お互いに他校から「学びたい」「吸収しよう」という気持ちが前面に出て、今まで以上の活発な意見交換が行われ、時間が足りなくなるほどでした。各校の生徒さんの感想から、その様子が伝わると思います。紙幅の関係で一部しか掲載できないのが残念ですが、お読みください。

○同じ県内でも清掃の方法が違う学校があって、びっくりしました。意見交換をすることで、新しくやってみたいこと、改善していきたいことがみつかったので、今後の活動に役立てていきたいと思いました。特に取り入れてみたいなと思ったのは、篠ノ井東中の「みがき隊」です。佐久穂中では

全員が三昧を達成できているとは言えないので、篠ノ井東中からのヒントを受けて、全校に清掃の楽しさを知ってもらえるようにしていきたいです。(佐久穂中)

○篠ノ井東中の長い時間をかけて校舎のいろんな場所を磨く「みがき隊」という活動や、佐久穂中の清掃を楽しんでやれるように段階を決める「三昧清掃」など、他の学校ならではの工夫があり、何度も驚いた。私はまだまだ自分の学校でもできることがあると思った。清掃を楽しむことができれば、より清掃が良いものになると知り、まずは自分が清掃を楽しめるようにしたい。(常盤中)

○グループでの話し合いで、常盤中の黙想後の移動中の私語のなくし方などがわかりました。自分たちの学校では行っていないような企画がたくさんあり、自分たちの学校でも取り組んでみたいと思いました。とてもよい機会になりました。ありがとうございました。(更北中)

○身支度や気づき清掃で、それそれに違った取り組み方があったし、自分の学校にはない「黙想」や「縦割り清掃」が多くて、参考になったからよかった。(南宮中)

○どの学校もたくさん工夫や良い所があったので、そんな工夫や良い所を西中でも取り入れて、できることは企画していきたいなと思いました。(篠ノ井西中)

○墨坂中は全校が少しでも清掃に意識をもって取り組んでもらえるような企画を行えていないし、見まわりをしてよい清掃場所を発表するなどのことは定期的に行えていないので、そこも全校が清掃に対して意識が低い理由のひとつでもあるのかなと考えることができた。なので、これからは今回学んだことや考えたことを元に、全校のやる気がアップできることを考え、少しでも墨坂中の清掃がよりよいものになるように、頑張りたいなと思いました。(墨坂中)

○私は他校の清掃について、何も知りませんでした。でも、今回の清掃サミットでいろいろな活動を知ることができました。私の学校の伝統のひとつである雑巾の「二度がけ」というのも、墨坂中のように3回がけ、4回がけしている学校もあり、さらに上の清掃をしているのがわかりました。三昧清掃やみがき隊などのまだ取り入れていない活動も、今後できる範囲でやっていきたいと思います。次回の清掃サミットも楽しみにしています！(清水中)

○三郷中でもやってみたいと思える活動が多くあったし、どのアイデアも意欲向上をさせたり、効果的な清掃をしたりするのにとてもよかった。ここで学んだことを生かして、来年度の企画を考えていきたい。もう少し他校に意見を言ったり、言ってもらう時間があればよかった。また参加できるときがあれば、ぜひ参加したい。(三郷中)

○三郷中の年に2回、全校で清掃についてのアンケート・反省用紙を書いてもらって発表するという活動が、自分を客観的に見ることができて、やってみるといいと考えました。和白丘中の清掃の終わりの反省会は、東中では普段の清掃では行わないで、いつも反省するというのもとてもいいと考えました。他校の活動や掃除に向かう姿勢を見ることができて、ためになった。(篠ノ井東中)

○普段なかなか知ることができない他校の様子・工夫を知ることができた。これから信明中の清掃をよりよくしていくためにはもちろん、今後自分が清掃をしていく上でも大切にしていきたいと思った。特に篠ノ井東中のペットボトル作戦については、SDGsも考慮されているため、実践していきたいと思った。(信明中)

○他の学校も同じような悩みがあって、いろんな対策をしていて、自分たちも試してみようと思った。篠ノ井東中のペットボトル作戦は、城南中でもやってみたいと思った。佐久穂中の6段階に分けて自分の清掃のランクを個人個人で意識してもらうというのは、もっと良い清掃にしていこうという意識を持ちやすいと思った。(城南中)

○篠ノ井東中の発表を聞いて、「みがき隊をやってみたい！」とか「ペットボトル大作戦をやってみたい！」という声がたくさんあって、とてもうれしくなりました。三昧清掃や縦割り清掃など、同じ活動の中でもそれぞれの違ったよさを見つけられて、参考になったと思います。(篠ノ井東中)

○初めて清掃サミットに参加させていただいて、他の学校の清掃の姿を見ることができたり、意見交換ができたりと、とてもいい経験をさせてもらうことができて良かったです。各学校、全校の皆さんに清掃の大切さを理解してもらうのは難しいかもしれないけれど、今回集まった方々が清掃の大切さを広めていけば、少しずつではあるかもしれないけれど、何か変化があるのではないかと思いました。私はもうすぐ卒業だけれど、できる限り清掃の良さを広めていけるように頑張っていきたいです。(篠ノ井東中3年・前整美委員長)

「今回の意見交換を元に、各校で取り組んでみたことを次回持ち寄りましょう」と再会を約束して閉会となりました。年に一度の従来の清掃サミットでは「再会」はできませんでしたので、やはり「コロナのせいでできなかった」というマイナスではなく、「コロナがあったからこそできる」というプラスの発想をしたことが、この新たな一歩につながったのだと思います。ご参加いただいた皆さん、本部会場を提供してくださった篠ノ井東中学校さま、本当にありがとうございました。

おかげさまで、会報がついに100号を迎えました。平成18年8月の第1号発行以来、15年間皆さまの応援に背中を押されて、ここまでたどり着くことができました。ありがとうございました。今春、太田は中野市立高社中学校に異動となりました。気持ちも新たにスタートします！よろしくお願ひします。

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(中野市立高社中学校教諭)

携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp

小布施掃除に学ぶ会HP・<http://obuse-souji.com/>